

CHITOSE CENTRAL ROTARY CLUB

PROMOTION of ECO-PROJECT, 2008-2009



発行 千歳セントラルロータリークラブ
 会長 井上英幸 / 副会長 今井章夫 / 幹事 武田伸也 / 会報編集責任者 武田伸也
 〒066-8520 北海道千歳市本町4丁目 ホテル日航千歳内 TEL・FAX.0123-26-5788
 オフィシャルホームページ <http://www.ccrc.jp> E-mail. office@ccrc.jp

会長挨拶

会長 井上 英幸

1週間の選挙戦が終わりました。それぞれご活躍された方がたくさんいらっしゃることでしょう。本当にご苦労様でした。大変、残念ではありますが、我々の仲間である和田さんは落選という結果となってしまいました。

投票率が62%と過去最低でした。

24,500人くらいの方が選挙に行かれていない。棄権されています。道民として、千歳市民として町を担っていく市議会議員を選ぶという投票行動を棄権してしまうという行為はあってはいけません。

投票率を何故上げることが出来なかったのか。選挙の仕組みを変えるところも考えなくては、投票率はなかなか上がらないのでしょうか。近々に衆議院選挙もあります。中央で働く国会議員を決める選挙は、今回の市議選よりも身近ではなくなるわけですから、投票率が上がるという要因は見込めません。

我々は、ロータリアンとして、社会で、会社で、家庭で、「選挙には行こう」という意思をもっと発進していかなくてはなりません。

午前に、次年度の理事会が開催されました。高塚会長を中心に進められ、私は理事としておとなしく聞いているという立場になりました。20周年に向けて大事なことが進められて参ります。全会員が一丸となり進めていかなくてはなりません。宜しくお願い致します！

幹事報告

副幹事 大野 馮

- 6月19日(金)に、RC、LC、JCの5クラブ合同親睦行事を開催します。
- 6月7日(日)、メーキャップ事業「アイドリング・ストップ啓発運動」を、ポスフル千歳店にて実施。午前11時に現地集合。

例会出席状況 (2009年6月2日)

| | |
|--------------|---------------|
| 会員数 | 38名 |
| 会員出席者数 | 23名 |
| 欠席者数(内:無断欠席) | 15(6)名 |
| 出席率(前回例会) | 60.52(44.73)% |
| ゲスト・ビジター出席者数 | 0名 |
| 出席者数総計 | 23名 |

各委員会報告

エコプロジェクト実行委員会 実行委員長 須藤 丈

6月7日(日)にメーキャップ事業「アイドリング・ストップ啓発運動」を、ポスフル千歳店で実施します。西玄関にAM11:00に集合です。所要時間は約1時間を予定しています。

親睦活動委員会 副委員長 加藤 正志

■ RC、LC、JCの5クラブ合同親睦行事開催のご案内です。

① クラブ対抗チャリティゴルフコンペ

6月19日(金)午前10時スタート
 シャムロックカントリークラブ
 プレー代(各自負担)、参加登録料3,000円
 ダブルペリア方式
 参加登録料の一部、及びプレー中チャリティー
 ルールの益金を社会福祉団体に寄与

② 会員交流親睦会開催

6月19日(金)午後6時
 会場:ホテル日航千歳
 会費:5,000円
 ゴルフコンペに参加・不参加を問わず、全会員が参加対象です。

■ 6月23日(火)は、今年度最終例会になります。午前中の9時くらいから第6回会員親睦ゴルフコンペを予定しています。詳細は後日ご案内します。

ニコニコBOX

ニコニコ箱 委員長 山本 啓子

今井章夫会員：前回の「ふれあい農園」の早朝作業では、委員長である私が欠席し申し訳ありませんでした。皆さまの協力ありがとうございます！

入口博美会員：「ふれあい農園」には、都合が悪く欠席しました。

佐々木俊英会員：クラブメンバーの和田さんが残念ながら市議選に落選してしまいました。仲間ということで、わたしが後援会長をやり、皆さんに協力していただきました。にもかかわらず、力足らずでこの結果。申し訳ありません。本人はかなりのショックのため例会には見えておりません。お詫びとお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

井上英幸会員：和田さんの後援会役員を務めていた私からもお詫び申し上げます。

多賀勲会員：前回の例会休みました。

坂井治会員：同じく欠席しました。また、地区大会記録誌に私の写真が載っていました。

本日のプログラム

「会員卓話」 会員増強・維持委員会

委員長 入口 博美

担当の会員増強・維持委員会の入口です。新しく入会された皆さまに「ロータリーに入ってどういった感想をもったか？」をお話いただくように、菊池会員・加藤会員・彦坂会員・手島会員・比原会員にお願いしましたところ、当てが外れて誰もいません。見事にこのプログラム不成功でございます。

6月14日(日)には札幌で会員増強セミナーがあり出席してまいります。いろんなお話を聞かされて『増強に邁進せよ！』と指令を受けてくることとなります。昨年、今年のががクラブの入会状況ですが、昨年度、私の年度は7名の入会。今年度は4名の入会で38名です。7月には東亜珈琲館の鈴木さんが入会で39名になります。非常にすばらしい増強の成果があったと思います。午前には次年度の理事会があり、次年度目標は会員43名を目標とし、予算組みをしております。従いましてあと4名の増強をしないと会の運営費は出てこないということです。また、昨年から非常に大きな事業を抱えております。①「市民協働プロジェクト」市提案型で特産品の事業を展開しようというものです。②「エコプロジェクト」アイドリングストップ運動 ③「ロータリー

ふれあい農園」 ④「緑化推進事業」支笏湖復興の森の手入れ作業、及び良好な景観作りに駅前ロータリーの“友好のサクラ”と憩いの空間に緑を！“指宿公園の桜”のメンテナンス作業 ⑤「長泉 RC 友好クラブ交流事業」の組み立て ⑥「創立20周年」その準備 ⑦「交換留学生」

これらの事業を組み立てる時に何が大切かということとお金と人であります。やり繰りして出来るだけお金を賭けずに友好的な資金運用をしよう。それとやはり“人”であります。今述べたこの7つの事業と通常の4大奉仕部門にかかわる活動。これを各人が兼務でやっていかななくてはならないのです。一人で2つも3つも掛け持ちは大変な訳であり、自分の持っている仕事にも影響するでしょう。これを軽減するためには人が必要。

会員を43人にするためにも、「あと5人くらいの入会を！」と皆さんは常々お考えくださっているとと思いますが、実際に行動に移すと言うことが非常に難しいのです。これまでは、行動に移したと言う結果が大きな増員になったわけですが、では果たしてうちのクラブが我々が、どういった素晴らしさを持っているのか？ その共通した認識を持ってアピールしていかなくてはいけないと思います。

市内にはもうひとつの千歳 RC さんがあり、特別に競争していくと言う大それたことは思っていないのですが、ライバルとしてきちんと認識しなくては いけません。我々のクラブは年齢も若いですし、活動力もある。だからこそ、これだけの7つの事業を継続して来れましたし、これからも進んでいきます。千歳 RC さんは60人くらいの会員ですが、実際活動に携わるのは30人くらいと聞いています。そして会員の4分の1は企業派遣であり、我がクラブと比較するとかなり違いがあります。

我がクラブは一丸となって活動できるクラブであり、セントラルは団結力があり行動力もあると高く評価されているようです。しかし、実際は「仕方なく・・・」というお付き合いで活動している部分もあり、全てが「自発的にやろう！」という考え方で進んでいるわけではないと思います。しかし、きちんとしたリーダーのために、リーダーを盛り上げるために皆さんが苦勞してやっている。その姿が、セントラルロータリークラブなのだと思っています。それを共通認識として捉え、「我々と一緒に活動しよう！」「すばらしいクラブだ！」と、この考え方をどんどんピーアールしていきたいと思います。事業のすばらしさではなく『一つのことに向って汗を流す』ということが、我々会員にとって一番の楽し

みであると思います。ただ飲んだり食べたりという場面もあるかもしれませんが、そんな場面もないと出会いも無いわけです。

「セントラルロータリークラブは出会いの場を大切にすると、皆さんにそう思っていていただくことと思います。

「一生懸命やりましょう！」という声掛けが、一番となってくるでしょう。皆さん一人ひとりが着実に声掛けをして、『仲間を増やしていこう！』と、進んで頂きたいです。そして皆さん個々が、感じ取って、楽しい例会にして戴けますようお願い致します。

副委員長 坂井 治

私は設立20周年を迎えた年の会長になりますので、20周年を成功裡に終わらせたいという思いが第一であります。

会員増強と会員維持のためには退会防止を考えなくてはなりません。「毎週例会に出席する」、これもはじめは大変であります。来てよかったなあと思えるような例会に。「こんにちは」と、言って他愛の無い話をして帰るだけでも楽しいと思えるような雰囲気作り。私も心がけていきたいなあと思っております。そこで自分の存在価値が見出せ、セントラルに入るといろいろな人と情報交換も出来る。そんなことがロータリー活動の活性化につながり、地域の役にも立てる、そのようなクラブになることが会員増強につながるものと思います。

高塚年度は43名が目標です。私の年度は是非に50名を目標に頑張りたいものです。